

【海外事情 9月19日号】

- 旅行会社の利用者が19%に増加 Travel Journal 9月19日号参照
- ジェットブルー、キューバ就航 Travel Journal 9月19日号参照
- 豪当局、レートパリティ禁止 Travel Journal 9月19日号参照
- 大手OTAのエアビー対抗 Travel Journal 9月19日号参照
- ホテルの自動音声認識デバイス Travel Journal 9月19日号参照

■ IHG、世界の決済にアリペイ使用

インターコンチネンタル・ホテルズ・グループ（IHG）が中国アリペイと提携して、来年から全世界の IHG ブランドのホテルでアリペイのオンライン決済を可能にする。世界展開前の年内には、中華圏の 270 ホテルでの使用を可能にする。アリペイのオンライン決済機能を導入するのは、IHG が初めてのホテルチェーンとなる。IHG は、2012 年からアリペイの姉妹会社の OTA であるアリトリップ・コムに同社のチェーンホテルの掲載を開始している。（TW 8/24 goo.gl/Qsc1Xq）

■ ウーバー損失10億ドル突破

ウーバーのファイナンス部長が、同社の今年上半期の EBITDA 損失が少なくとも 12.7 億ドル（約 1,270 億円）に達していることを明らかにした。ネット収入は、GAAP 会計基準で 21 億ドル（約 2,100 億円）であった。2015 年には、少なくとも 20 億ドルの EBITDA 損失を計上、この創立 7 年の会社は、少なくとも既に 70 億ドル（約 7 千億円）の累損を抱えている。ウーバー社の情報に詳しいアナリストによれば、損失の大半は世界市場展開拡大に伴う運転手に対する補助金の支給にある。ベンチャー・キャピタルや投資銀行が、ウーバーに現金と負債で 160 億ドル（1 兆 6 千億円）の大金をつぎ込んでいる。その結果ウーバーの企業価値は 690 億ドル（約 6 兆 9 千億円）にも達している。一度も利益計上を経験したことがない会社が、これだけ高い企業価値をつけるのは前例がないことだ。ウーバーは、7 月に過去 2 年間で 20 億ドル以上の大きな損失を計上していた中国事業を中国のライバル企業の Didi Chuxing に売却した。同社は、上半

期損失が“底”で、これから損失が減少すると言っている。現在の流動性は、現金同等物を含めて 80 億ドル（約 8 千億円）。（bloomberg.com 8/26 goo.gl/FVzTr1）

■ エクスペディアのホテル新提携

エクスペディアが、レッドライオンホテルと提携して同ホテルのロイヤルティ・プログラムの特別割引料金を expedia.com で表示することとなった。ロイヤルティークラブのメンバーでないユーザーが、会員用特別割引料金適用の客室を予約した場合は、その場で自動会員登録される。その上、エクスペディアは、通常 OTA が実施していない E メールアドレスなどの顧客情報をレッドライオンに対して通知する。この提携では、エクスペディアにとってはレッドライオンの最低料金へのアクセスが可能なり、レッドライオンにとっては Expedia におけるリスティング順位を上昇させるほか、自社のロイヤルティ・プログラムの会員獲得増加が可能になる、双方 Win-Win の提携である。もともとレッドライオンは、全米とカナダで 114 施設を運営する小規模ホテルチェーン、もともと直販力は強いとは言えないので集客力に圧倒的に勝る Expedia に依存するしかないというのも事実だ。エクスペディアは、直販優先の大手ホテルチェーンのリスティング順位を引き下げている。

ホテルの OTA 経由の予約が増えている。フォーカスライトの分析によれば、2014 年には消費者の 30% が OTA を経由して、27% がホテルの Web サイトを経由してそれぞれ予約していた。それが 2015 年には OTA 経由が 34% に、ホテル Web サイト経由が 23% に差が拡大している。OTA のホテル予約が増加しているのは、モバイルアプリの普及も影響している。エクスペディアは、レッドライオン以外のホテルとも同様の提携を模索したいと言っている。（TW 8/30 goo.gl/6Dqg0M）

+++++ +++++ +++++